



記者会見資料

令和2年6月2日（火）

産業部観光課（観光係）

担当：岩下（内 532）

震災復興・企画部地域づくり推進課

（交流促進係）

担当：菅原（内 332）

—新型コロナウイルス感染症拡大防止のため—

「第25回目黒のさんま祭」の開催が中止となりました

- 令和2年9月20日に開催が予定されていましたが「第44回目黒区民まつり」について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、目黒区民まつり実行委員会において中止が決定されました。このことから、毎年、同まつり内において気仙沼市民有志により開催する「第25回目黒のさんま祭」についても中止となりました。
- 今年は平成8年の第1回開催から25回目の節目の年であるとともに、目黒区との友好都市締結から10周年となる記念の年でもあり、記念事業の開催について目黒・気仙沼の両実行委員会において準備を進めていたところでした。中止決定を踏まえ、両行事共、来年に延期することとし、区市において引き続き検討・準備を進めてまいります。
- 目黒区は、気仙沼市の友好都市として、東日本大震災の発災直後から今日に至るまで、様々な支援を継続していただいています。今般のコロナ禍に負けず、今後も両自治体の連携を強化してまいります。

【目黒のさんま祭】

「目黒のさんま祭」は目黒区民まつり実行委員会が主催する「目黒区民まつり」において開催されるイベントです。落語「目黒のさんま」にちなみ、気仙沼市民有志からなる目黒のさんま祭気仙沼実行委員会により平成8年から開催され、今年で25回目となる予定でした。本市からは例年、市民有志ら約100人が集結し、気仙沼港に水揚げされたサンマを炭火焼きで来場者に無料で提供しています。また、サンマのすり身汁の販売や塩づくり体験、ホタテ貝アート等のワークショップ、特産品販売コーナーの設置、郷土芸能の披露等も行っています。

※目黒区の新型コロナウイルス感染症の発生状況について

目黒区における新型コロナウイルス感染症の患者は、令和2年5月30日現在で累計166名となっています。